

いぼがわ せせらぎだより

このニュースレターはホームページでもごらんになれます。

2006年
(平成18年)
12月発行

No.26

<http://www.iboriver.jp/>

今号の主な内容

- 第19回揖保川流域委員会
現地視察の報告
- 揖保川・川とみんなのふれあいだより
森と海をつなぐ里川の環境と子ども
～兵庫県立大学教授 熊谷哲氏
- 揖保川の歴史・文化
なるほど！地名の由来①「揖保（いぼ）」
- 揖保川生物ウォッチング
揖保川に生息する生物紹介
四つ目があるさかな？～オヤニラミ
- こんにちは、委員です。
流域委員会メンバーの紹介
～藤田正憲委員長

第19回揖保川流域委員会
を開催しました。
今回は洪水対策を提案して
いる箇所への現地視察です。

次回の流域委員会は
平成19年1月26日
を予定しています。

表紙の写真は綱澤正弘さんから寄せられた写真で、姫路市余部区上川原で撮影された揖保川の風景です。
撮影者コメント：「いつも揖保川の風景を写真におさめています。今年はおもいのほか渡り鳥が多く、揖保川の自然が守られている証拠だと感じました。」
※中央で白く輝くのはサギの群れです。

私たちは河川整備に関するみなさまのご意見をとりまとめ、国土交通省に提言します。

揖保川流域委員会 庶務



委託会社：株式会社 建設技術研究所 中国支社 河川室
担当：竹内、中野
住所：〒732-0052 広島市東区光町 1-13-20 ディア光町
電話番号：082-261-3805 FAX 番号：082-261-3740
eメール：ibogawa-office@ctie.co.jp



第19回 揖保川流域委員会

審議内容のご紹介

日時：平成18年10月20日(金)13:00～17:00
 場所：山崎文化会館(サンホールやまさき)

現地視察は国土交通省が管理する区間において洪水対策を提案している7箇所の視察ポイントをバスでまわりました。それぞれの視察箇所、環境の状況、対策の内容について国土交通省より説明が行われました。

マークの見方

対策案の方法は「築堤」、「河床掘削」および「堰の改築」の3つがあります。それぞれの方法の説明は次のとおりです。

- 築堤** 築堤とは、土を盛って堤防を築き、洪水であふれることを防ぐ方法
- 掘削** 河床掘削とは、河の底のたまった土砂を掘って川の水を早く流す方法
- 堰改築** 堰の改築とは、川の水の流れの障害になる堰を改築し、流れやすくする方法

主な視察ポイント

1 宍粟市一宮町・中安積地区

揖保川の河口から45k～46kで、引原川との合流部の上流側に位置します。右岸側の堤防は未整備ですが、左岸側は山がせまり堤防の整備は必要ありません。対策として、右岸側に堤防の整備を提案します。

対策案 **築堤** 右岸側に堤防を約900m築堤



安積橋で説明をうける

2 宍粟市一宮町・西・中安積地区

引原川の河口から45k～46kで、揖保川との合流部より上流側に位置します。両岸とも堤防は未整備です。対策として、両岸に堤防の整備を提案します。

対策案 **築堤** 両岸に堤防を約1000m築堤

3 宍粟市一宮町・曲里・閨賀地区

揖保川の河口から44k～45kで、揖保川と引原川との合流地点より下流側に位置します。両岸とも堤防は未整備です。対策として、両岸に堤防の整備を提案します。

対策案 **築堤** 両岸側に堤防を約1000m築堤



閨賀橋より下流方向

4 宍粟市一宮町・安黒地区

揖保川の河口から41k～42kです。左岸側の堤防は整備が済みであり、また、右岸側は山がせまり堤防の整備は必要ありません。対策として、河床の掘削を提案します。

対策案 **掘削** 取水堰の上流に位置する河床を一部掘削

5 宍粟市山崎町・野々上・田井地区

揖保川の河口から34k～37kです。両岸とも堤防は未整備です。対策として、河床の掘削と堰の改築、あるいは築堤と河床の掘削と堰の改築を合わせた方法を提案します。

対策案① **掘削** + **堰改築** 河床掘削及び堰の改築

対策案② **築堤** + **掘削** + **堰改築** 築堤、河床掘削及び堰の改築



野田橋より下流方向

6 宍粟市山崎町・河東地区

揖保川の河口から30k～34kです。両岸とも堤防は未整備です。対策として、河床の掘削と堰の改築、あるいは築堤と河床の掘削と堰の改築を合わせた方法を提案します。

対策案① **掘削** + **堰改築** 河床掘削及び堰の改築

対策案② **築堤** + **掘削** + **堰改築** 築堤、河床掘削及び堰の改築



河東大橋より上流方向

7 宍粟市山崎町・川戸・下比地・御名地区

揖保川の河口から26k～28kで、三谷川との合流部より上流側に位置します。左岸側は堤防の整備は済みですが、右岸側の堤防は未整備です。対策として、河床の掘削と堰の改築、あるいは築堤と堰の改築を提案します。

対策案① **掘削** + **堰改築** 河床掘削及び堰の改築

対策案② **築堤** + **堰改築** 築堤及び堰の改築



堤防上より上流方向



現地視察ルート図

意見交換



現地視察から戻ってきたあと、山崎文化会館の会場で意見交換が行われました。現地視察および屋内での意見交換での質問など主なものを以下にまとめます。

Q 竹林は治水効果があると聞きますが、伐採するのですか？

竹林はたしかに洪水の勢力を弱める効果はあると思います。しかし、堤防と同様の効果は期待できないので、堤防を計画している箇所の竹林は伐採することになります。

Q 河原に行きたくても、行けません。計画では水辺に近づけるようになっていきますか？

昔は川へ近づくような護岸は考えられていませんでしたが、現在では必要に応じて階段、坂路、緩傾斜などの方法で水辺へ近づけるような方法があります。

Q 河川敷にサイクリングロードやウォーキングできる散策路を整備してほしいです。

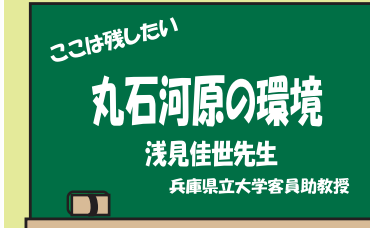
できる範囲のなかで散策路等について考えていきたいと思っています。

次回のお知らせ

日時：平成19年1月26日(金)
 13:00～16:00
 場所：たつの市青少年館

第20回揖保川流域委員会を開催します。

浅見委員により、揖保川の26k付近で残したい環境ということで「丸石河原」についてミニレクチャーがありました。



丸石河原の環境とは

丸石からなる河原「丸石河原」にはよく観察すると、水際の礫原の部分と、もう少し内部で草が疎らに生える部分の2種類があります。水際の礫原が頻りに水をかぶるのに対して、草が疎らに生える部分は乾燥が激しく、数年に一度くらいの洪水で草や石が流されてしまう特殊な環境です。



堤防より丸石河原をみる

丸石河原にすむいきものたち

このような特殊な丸石河原にはカワラハハコ、カワラナデシコ、カワラヨモギなど、カワラと名のつく植物が生育しています。また、チドリ類が巣をつくりヒナを育てる場所でもあります。



カワラハハコ



カワラナデシコ

浅見先生より写真提供頂きました。

丸石河原を保全していくために

丸石河原が揖保川のどの区間に成立しているのか、人間と共存できる場所をいかに残せるかなど、揖保川全体を視野に入れて考える必要があります。具体的にこの場所を残していくかは、色々な情報を集めて、今後みんなで考えていくことになるとおもいます。



川みんなのふれあいだより

揖保川で活動しているみなさんを紹介するコーナーです。



今回のレポートは

今回の紹介は「森」と「川」と「海」をつないだ「西播磨子ども環境学習推進協議会」の仕掛け人である兵庫県立大学の熊谷哲（くまがいてつ）教授です。

森と海をつなぐ里川の環境を子どもたちに教えたい

つながっている森と川と海

熊谷教授は「河川の流域は源流から河口口までを線や点で見るのではなく、森と川と海を含めた全体をひとつの広い流域として見ていくことが必要」であるという考えから、揖保川の「森」、「川」、「海」をフィールドとして、環境学習の取り組みを先導されています。

揖保川の自慢を見つけよう！

この事業において、川のフィールドの1つとして選ばれた揖保川では、醤油、素麺など豊かな水に支えられて発達した産業や、あばれ川だった揖保川から生活を守るためにつくられた「たたみ堤」などの治水施設を「揖保川自慢」として学習の材料に取り上げることにより、子供たちは先人の知恵や揖保川と地域の関わりについて学習しました。



理学博士
熊谷 哲（くまがいてつ）
兵庫県立大学教授

大学では環境ホルモンなどの化学を専門としますが、地球環境問題や地域の環境学習の支援活動も行っています。

揖保川のいきものウォッチング

揖保川に生息するいきもの紹介です

四つ目があるさかな？ オヤニラミ 01



どんなとこにすんでいるの？

水がきれいで、ヨシやコウホネなど抽水植物が多く、流れの緩やかな場所にひとりですつとすんでいます。

生息環境の配慮のポイント

コウホネ、ヨシなどの抽水植物が繁茂する、流れの緩やかな河岸の保全が望まれます。本川と連続した細流、水路などのコンクリート化は生息環境の消失につながるため、改修にあたっては十分な検討が必要です。

どんな特徴があるの？

全長13cmほどで、口が大きく、小魚や昆虫を食べます。目を中心に放射状に赤い線の模様があります。また、エラぶたの目玉模様が親をにらんでいるように見えることから「オヤニラミ」や「ヨツメ」という名前がつけました。

揖保川の歴史・文化 地名の由来①

播磨国風土記によると、葦原志拳平命（あしはらのしこのおのみこと）があわてて戦の腹ごしらえと急いで食べた飯粒が、口からポロポロこぼれ落ちたその地を、粒丘（いいぼおか）と呼ぶようになり、粒（いいぼ）から揖保（いぼ）へ移り変わり地名になったと言われています。粒丘はたつの市揖保町にあります。

揖保川流域委員会のメンバーを紹介します

こんにちは 委員です



藤田 正憲委員長

兵庫県明石市に生まれ、播州は自分の故郷と思っています。親戚が姫路周辺にいる関係で幼いころはよくこちら（といっても市川や夢前川周辺でしたが）にも来ました。専門は水質管理ですが、揖保川流域の自然にも関心があり、流域委員会の仕事の中で、流域のたちが川にふれあう喜びをいつまでも守っていきたいと思っています。もちろん、洪水などで揖保川に裏切られたと思わないように、理想と現実の舵取りも忘れません。

私事ですが大阪大学を定年

退職し、昨年从高知高専に赴任しています。高専の横を流れる物部（ものべ）川も鮎つりで有名な川ですので、いつも横の川を見ながら揖保川と対比しています。また、宿舍の近くを流れる鏡川（高知市の水源）の堤防は朝の散歩道となっています。人生の後半を送る私にとって、毎日川と接し、川を楽しめるのは、もしかしら揖保川が取り持つ縁ではないかと思っています。高知の川を通じ、もっと揖保川流域の方々の気持を理解したいと思います。

表紙の写真を募集しています！

応募方法

プリントした写真と撮影場所、撮影時期などの説明文を同封し、住所・氏名・電話番号をご記入の上、揖保川流域委員会の庶務あてに郵送して下さい。なお、応募写真は未発表のものに限らせていただきます。（応募先は表紙に記載）

※使用させていただく写真の版權、著作権は委員会に帰属するものとし、応募作品は返却しませんので、あらかじめご了承願います。